

科目	生物	単位数	4	学年	3	学級	A～H	学科	普通科・国際教養科
----	----	-----	---	----	---	----	-----	----	-----------

学習の到達目標	身の回りの生物について、実験・観察などを通してより深く理解するとともに、生物・自然環境への関心と、自然に対する探求心などを育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:実教出版 生物 副教材:東京書籍 ニューグローバル生物

期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	第1章 生命現象と物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞を構成する物質, 構造, はたらきを学習する。</li> <li>生命現象を支えるタンパク質の構造やはたらきについて学習する。</li> <li>ATP のエネルギーの変化と利用のしくみについて学習する。</li> <li>複製や発現のしくみ, 塩基配列変化に伴う突然変異について。</li> <li>生物が同じ種を残すしくみを, さまざまな視点から学習する。</li> <li>動物の発生過程に伴う胚の変化と遺伝子発現について学ぶ。</li> <li>両生類の胚の研究で明らかにされたしくみや遺伝子について。</li> </ul>
	5	1節 細胞と分子 2節 代謝 3節 遺伝情報の発現	
	6	第2章 生殖と発生	
後期	7	1節 有性生殖 2節 動物の発生 3節 植物の発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物が体内外の情報を得て反応を起こすしくみを学習する。</li> <li>動物のいろいろな行動とそのしくみについて学習する。</li> <li>植物の環境応答の実際とそのしくみについて学習する。</li> <li>現在の生物が, 誕生後, どのような変遷をたどったか学習する。</li> <li>生物の形質が世代を経るにつれて変化していくしくみについて。</li> <li>生物の進化の道筋と, 生物の多様性との関係性について。</li> <li>生物の個体数変動を, 種内種間関係, 環境影響に注目し学習する。</li> <li>有機物の生産やエネルギーの流れと生物とのかかわりについて</li> <li>生物多様性の意味とその減少がおきるしくみについて</li> </ul>
	9	第3章 生物の環境応答	
	10	1節 動物の反応と行動 2節 植物の環境応答	
	11		
	12	第4章 生物の進化と系統	
	1	1節 生物の進化 2節 進化のしくみ 3節 生物の系統 第5章 生態と環境 1節 個体群その変動 2節 生態系	
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業への取り組み, プレゼンテーションや課題プリント, 定期考査	
	思考・判断・表現	定期考査, 実験レポート	
	観察・実験の技能	プレゼンテーション, 実験レポート, 定期考査	
	知識・理解	定期考査, 授業内の小テスト, 実験のレポート, 課題プリント	
	評価方法	定期テスト 8 割程度、その他 2 割程度（上記参考）	

担当教諭から	第4回考査は実施しません。受験での必要・不必要に関わらず、現代人にとって大切な科学的知識をおさえ、論理的な思考ができるようになります。
--------	---